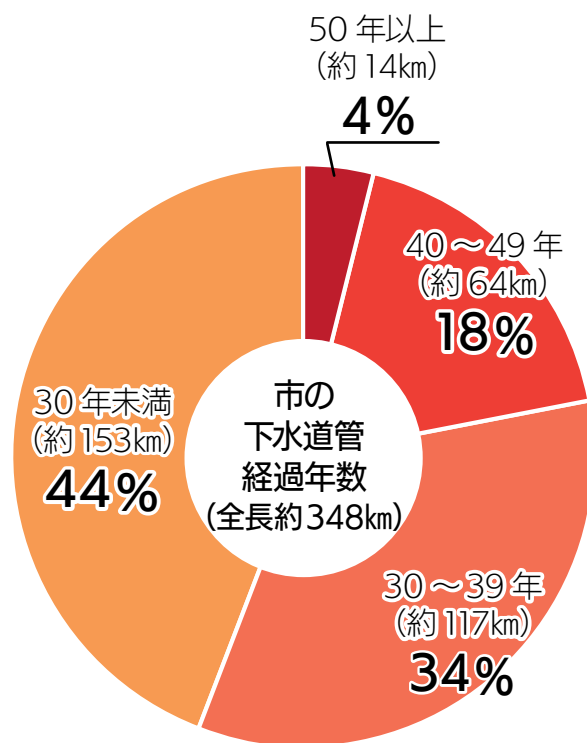


Q2 市の下水道管はどれくらい古いの？

令和6年度時点で標準耐用年数（50年）を経過した管路が約14km、30年を経過した管路を含めると約195kmと全体（約348km）の56%を占め、老朽化対策が課題となります。

今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、調査、修繕など適切な管理が必要となってくるんだ！



マンホールに TV カメラを入れる様子



点検用の TV カメラが 下水道管内を調査する様子

Q3 市の下水道管の劣化対策は どうしているの？

ストックマネジメント計画に基づき、点検用の TV カメラを用いて下水道内部の調査を行い、調査で発見されたひび割れの修復作業を進めています。

※ストックマネジメント計画とは、劣化や老朽化が進む下水道管の状態を効率的に管理し、修復や更新が必要な箇所を特定し、適切に対処するための計画です



△市 LINE 公式アカウント

Q4 道路の異常を見つけた場合 どうしたらいいの？

市 LINE 公式アカウント「道路・公園・上下水破損情報」で報告をしてください。安全を確保したうえで、異常内容や正確な場所を LINE で伝えてください。ぜひ、安全な道路環境へのご協力をお願いします。※電話や市窓口で報告することも可能です

市 LINE 公式アカウントの 登録はこちら



教えて！ 摂津市の上下水道事情

パート2 下水道編



令和7年1月に、埼玉県において下水道管などの破損に起因すると考えられる大規模な道路陥没事故が発生し、市民や社会経済活動に大きな影響がありました。

この事故を踏まえて市が独自に実施した対策と、下水道管の老朽化に対する取り組みについて皆さまにお知らせします。

問合せ 下水道事業課へ



△市職員による緊急点検



△委託業者による詳細調査



△委託業者による詳細調査

Q1 埼玉県で発生した事故を踏まえ、市は何か対策したの？

市職員による緊急点検や委託業者による詳細調査を行いました。その結果、下水道管の破損や道路陥没に繋がる異常は見つかりませんでした。

調査	緊急点検 (2月6日(木)～10日(月))	詳細調査 (2月28日(金))
対象	市職員が下水道管の埋設箇所に異常がないか調査 ▽市が管理する口径 2m 以上の下水道管 (5,329m) ▽大阪府が管理する口径 2m 以上の下水道管 (10,100m)	委託業者が下水道管内部に異常がないか調査 ▽市が管理する口径 2m 以上の下水道管のうち 急な曲線部を含む箇所 (約 200m)
内容	道路面の点検、35 カ所のマンホール内部の点検 (下水の詰まりや堆積物を確認) ※大阪府が管理する下水道管については、 道路面の点検を実施	▽管のひび割れや漏水の 痕跡の有無を目視で確 認 ▽管内の写真撮影
結果	道路陥没につながる異常はなし	軽微なひび割れが見つかったものの、現時点では下水道管の破損につながる異常はなし ※ストックマネジメント計画に基づき、補修予定 (11ページ参照)